

令和5年度 水道事業・工業用水道事業会計 決算見込(速報版)の概要について

1 経営収支概要

(1) 水道事業会計

水道使用量の回復基調により給水収益が増加したことに加え、固定資産の除却処理にかかる資産減耗費が減少したことなどから、経常損益(95.9億円の黒字)は、前年度に比べ18.7億円の収支改善となる見込みです。また、当年度損益(95.1億円の黒字)についても、前年度に比べ27.3億円の収支改善となる見込みです。

(2) 工業用水道事業会計

給水施設受託工事が概ね完了したことなどにより、経常収益・経常費用ともに減少したものの、経常損益(0.2億円の黒字)は、前年度と同程度となる見込みです。また、当年度損益(4.5億円の赤字)については、もと城東浄水場浄水施設の撤去工事などにかかる特別損失が増加したことから、前年度に比べ1.0億円の収支悪化となる見込みです。

2 資金不足比率について

令和5年度決算においては、水道事業会計、工業用水道事業会計ともに、資金不足が生じる見込みはありません。

(注)「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の施行に伴い、公営企業会計については、会計ごとに資金不足比率を算定することとされ、平成20年度決算から、資金不足比率が経営健全化基準(20パーセント)以上となる場合は、経営健全化計画の策定が義務付けられました。

3 経営収支

【水道事業会計】

(単位：百万円)

	令和5年度 決算見込	令和4年度 決 算	差 引	増減率 (パーセント)
経 常 収 益	62,115	60,515	1,600	2.6
うち給水収益(※)	53,051	51,447	1,604	3.1
うち料金減額相当額繰入	4,310	4,260	49	1.2
うち受託工事収益	163	185	△23	△12.2
経 常 費 用	52,525	52,790	△265	△0.5
うち人件費	10,966	11,237	△272	△2.4
うち物件費	19,923	19,541	382	2.0
うち減価償却費	17,826	16,920	906	5.4
うち支払利息	1,403	1,599	△195	△12.2
経 常 損 益	9,591	7,725	1,865	
特 別 利 益	355	0	355	皆増
特 別 損 失	432	945	△513	△54.3
当 年 度 損 益	9,514	6,780	2,733	
累積剰余金(△累積欠損金)	16,294	0	16,294	
資 金 不 足 比 率	—	—		
企 業 債 残 高	96,514	98,706	△2,192	△2.2

(注)生活支援の施策にかかる減額分(一般会計より補填)を加えた実質給水収益は57,361百万円。
(令和4年度決算の実質給水収益は55,707百万円。差引 1,654百万円)

【工業用水道事業会計】

(単位：百万円)

	令和5年度 決算見込	令和4年度 決 算	差 引	増減率 (パーセント)
経 常 収 益	554	672	△118	△17.6
うち受託工事収益	73	201	△128	△63.6
うち繰延運営権対価収益	50	50	0	0.0
うち運営権者更新投資収益	1	0	1	皆増
うち運営権設定関連収益	273	254	19	7.4
経 常 費 用	537	657	△120	△18.2
うち物件費	70	168	△98	△58.2
うち減価償却費	404	392	12	3.0
うち支払利息	2	4	△1	△29.6
経 常 損 益	17	15	2	
特 別 利 益	0	32	△32	皆減
特 別 損 失	467	399	68	16.9
当 年 度 損 益	△450	△352	△98	
累積剰余金(△累積欠損金)	434	824	△391	
資 金 不 足 比 率	—	—		
企 業 債 残 高	108	167	△60	△35.7

(注)表内の計数は、全て四捨五入を行っており、また差引及び増減率(パーセント)については、円単位で計算しているため、表内計算で一致しないものがあります。